長岡中央商店街

「商店街エコチャレンジプロジェクト －街路灯の LED ランプ自主創作・交換活動－」

１．取り組みの概要

○ 長岡中央商店街振興組合（京都府長岡京市）では、平成 19 年度以降、賛助金の減少等により街路灯の維持管理が喫緊となり、その危機的状況の打破のため店主と地域住民、行政職員が連携し合い「チームアゼリア」を結成。区域 84 基すべての街路灯を LED ランプ化に自主創作・交換する取り組みが行われている。
○ この地域連携の取り組みがきっかけで、「花いっぱい運動」や「打ち水」など環境保全活動の気運の高まりなど相乗効果を生んでいる。

２．商店街概要

商店街名	長岡中央商店街
所在地	京都府長岡京市開田
組合数	62
ＵＲＬ	http://www.azalea-pierrot.org/

３．取り組みに至る経緯・背景

- ✓ 長岡中央商店街では、今日の経済不況や後継者問題により加盟店舗の減少とともに、企業協賛金の削減を契機に、19 年度以降、商店街の街路灯（通称・すずらん灯）に係る電気代や維持費（年間 90 万円）を賄いきれない危機的状況に直面するに至る。
- ✓ 商店街役員の間では「ピンチはチャンスだ！」とのチャレンジ精神が芽生え、商店街振興組合理事長および街路灯メンテナンス会社（岩崎照明株式会社、京都府亀岡市）のスタッフを中心に、二酸化炭素削減とともに経済性に優れている「LED ランプ」の導入を検討することとなったが、当時は街路灯向けの市販品がなく、既製品では照度が足りないが判明するに至っている。
- ✓ 平成 19 年 6 月、同社スタッフの指導により、高照度の LED ランプの自作計画が始まる。
- ✓ 試作品は、1 基 20W 弱の LED ランプが完成し、20 年 6 月より 6 か月間の耐久テストの末、試作品として完成するに至る。

［写真］LED モジュール（1 本につき 9 個の LED ランプを使用。長さは 15 ㎝）

［写真］水道用パイプを利用し、複数の LED モジュールを装着

※　電球自体は水道用パイプをランプの芯の役割に代え、LED モジュール（1 本につき 9 個の LED ランプを使用。長さは 15 ㎝）を自作し、高照度（光の拡散）を担保するためにモジュール角度を微調整し、街路灯カバーは風呂用電灯カバーを利用している。

４．取り組み内容

（１）取り組みの実態

- ✓ 平成 20 年 12 月、商店街店主や京都府内のメーカー勤務の地域住民ら、また市職員による協働ワークグループ「チームアゼリア」を結成、商店街区域にある 84 基すべての街路灯の LED 化を目指し、LED ランプづくりから交換活動までの一連の取り組みが始まる。
- ✓ 以後 1 年を掛けて、地元小学校（長岡第 6 小学校、神足小学校）の環境学習（授業）の場や京都信用金庫提供のコミュニティホールなど計 7 回の LED ランプ製作会を実施。

［写真］神足小学校での環境学習

（出典）神足小学校ホームページより

- ✓ 製作会では、チームアゼリアが地球温暖化と省エネをテーマとした環境学習プログラムを実施し、岩崎照明スタッフら技術専門家の指導のもと組み立て作業を行い、創作品には作業に関わった児童たちの名前を書き込む工夫を行い、参加者のモチベーションアップにつなげている。
- ✓ 製作会に関わった人数は、総勢 630 人に及ぶ。
- ✓ 平成 21 年 12 月時点で、60 基の街路灯が LED ランプの付け替えが完了し、その交換作業にも創作活動に関わった児童らが見守るなか進められていく。

（２）事業運営上の問題点とその対応

- ✓ LED ランプづくりの材料費などの資金調達は、事業総額 776 万円のうち約 2/3 を全国商店街振興組合連合会や京都府、長岡京市からの補助金で賄っている。残額は商店街の積み立て基金で充てられている。

（３）事業継続のポイント

- ✓ 長岡京市内では、教育機関および地元企業、京都府地球温暖化防止活動推進センターなどとのパートナーシップにより、地域と学校が連携して環境教育などに取り組んで

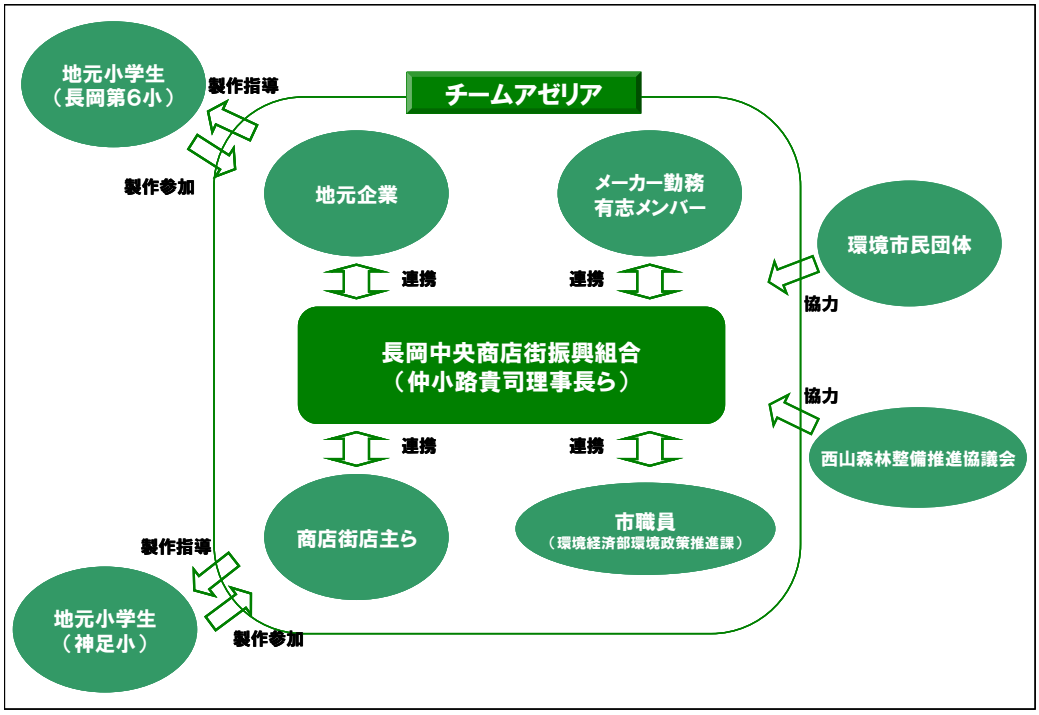
いる土壌がある。

- ✓ また、長岡中央商店街は地元小学校との間で就業体験の機会づくりを行っており、連携実績が 10 年以上もの歴史がある。
- ✓ さらに、長岡京市（行政）においては「‘環境の都’長岡京市環境都市宣言」を掲げるなど、地域・学校と同様に環境問題に取り組む土壌が醸成されている。
- ✓ 上記のような背景が、地元小学生を巻き込んだ製作会が延べ 7 回と、1 年掛かりで取り組むことができたことと考えられている。

５．地域とのつながり

- ✓ 商店街振興組合理事長ら役員をはじめ、商店街店主やメーカー勤務の地域住民ら、市職員の協働によって結成された「チームアゼリア」を中心に、LED ランプの創作メンバーには地元小学校（長岡第 6 小学校、神足小学校）や地元企業の協力に拠っている。

［図］長岡中央商店街とチームアゼリア、地元小学校とのつながり



６．取り組みによる成果

- ✓ 製作会および小学校での環境学習に参加した児童からは、後日先生を通じて文集としてメッセージが商店街に寄せられ、地域と小学校との連携効果の表れである。

［図］商店街と地域住民、行政との協働による LED ランプづくりへの反響

（出典）長岡中央商店街振興組合かわら版「街あかり vol.2」（平成 22 年 2 月号）より抜粋

- ✓ 商店街と地域住民、行政職員との協働による「チームアゼリア」の取り組みは一過性に終わらせることがないよう、22 年度においては「打ち水」や「花いっぱい運動」、地域の環境を考える「七夕まつり」、市主催「環境フェア」の出展など、事業連携の取り組みが見られている。
- ✓ LED ランプは 10 年間もの長持ちする‘長寿命’と言われ、その LED ランプには製作に関わった児童たちの名前が書き込まれていることから、児童が成人になるまで街を灯し続けることが想定できることから、親子揃って来街するきっかけを得、商店街の賑わいに貢献しているものと考えられている。
- ✓ この事業は、21 年 12 月に行われた「きょうと ECO-1 グランプリ 2009」決勝大会ではグランプリ受賞を遂げ、次いで全国大会（環境賞「ストップ温暖化 一村一品大作戦 2010」）では銀賞を受賞している。

７．今後の課題・展望

- ✓ 本事業を契機に、今後も環境保全活動と地域活性化を考え、「打ち水」や「花いっぱい

運動」の継続実施をはじめ、リサイクル自転車（電動自転車）の導入など、二酸化炭素排出抑制などにつながる活動アイディアを創出していく。

- ✓ LED ランプづくりで培った商店街と地域住民、行政との協働関係を存続活用し、商店街をコミュニティの場としての提供につとめ、「顔の見えるコミュニケーションづくり」を目指していく。